

稼ぐ農業ワークショップ 第1回 結果報告

～本市の農業の「強み・弱み・活用・不安」を出し合いました～

市では、持続可能で魅力ある農業の実現に向けて、若手農業者の皆さんと一緒に考えるワークショップを開催しました。

第1回目となる今回は、本市の農業について「強み」「弱み」「活用」「不安」の4つの視点で、自由に意見を出し合いましたので、その内容をお知らせします。



1 ワークショップの概要



開催日時

令和8年
6月23日(火)
13:30～15:30



参加者

21名

(若手農業者、JA職員、市職員)



テーマ

「本市の農業の
強み・弱み・活用・不安を
出し合おう」



実施方法

グループに分かれて意見出し
(付箋を使ったグループワーク)

2 本市の農業について出された意見 (抜粋)

グループで出された意見を、4つの視点ごとに整理しました。(付箋に書かれたご意見をそのまま掲載しています)

強み (良いところ・誇れるところ) 🍀

果樹生産が
盛ん

米が
おいしい

いちご、なし、かぼちゃ、
牛乳など、スイーツに
使用できるものが
多く生産

地場産の
ブランド野菜が
ある

乳質が
良い

元氣な農業経営者
が多くいる

弱み (課題・足りないところ) 🗣️

道の駅が
ない

後継者が
少ない

農業機械を
購入する補助金が
欲しい

市特産物不足
及びPR不足

地元の人に
愛される名産物が
ない

他の市町村より
農家への支援が
少ない

活用 (伸ばしたい資源・可能性) 💡

JR鳥山線

山あげ祭

鳥山城

メグロ

未利用地が
たくさんある

国見のみかん

不安 (心配なこと・不安要素) ☁️

耕作放棄地の増

就農人口が
減少している

農業者が
高齢化

イノシシ害の増、
クマ出没のおそれ

人手不足で
時給がどんどん
上がる

スポットでの
パートが本当に大切、
本当に少ない

今回の
まとめ

本市の農業には、多彩で質の高い農畜産物が揃う豊かな生産基盤に加え、それを支える意欲的な経営者がいることなど多くの強みがある一方で、深刻化する担い手・人手不足や生産・支援体制の弱さ、鳥獣被害や耕作放棄地の増加など、さまざまな課題も見えてきました。これらの意見をもとに、次回は「事業アイデアの検討」に進みます。

3 今後の流れ

第1回(今回)
意見出し



- ・本市の農業の現状や課題を知る
- ・「強み・弱み・活用・不安」について自由に意見を出し合う

第2回(予定)
事業アイデアの検討



- ・意見をもとにアイデアを出し合う
- ・実現したい取組を具体化する

実行委員会設置
(令和8年度中)



- ・事業アイデアの実現に向けて協議・検討
- ・取組の実施体制を整える

